

食と農の明日を拓くのは

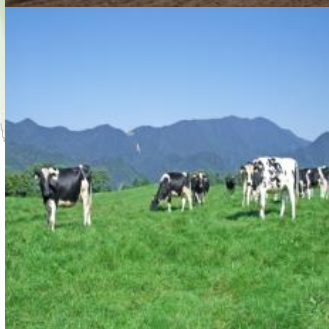
やっぱり農研機構

「つながる」産学官連携活動

## 農研機構をご利用いただくために

農研機構では、農業・食品産業のイノベーション創出のため、民間企業等のニーズに応じた研究開発や研究成果の移転に積極的に取り組んでいます。

多様な連携活動を進めていくために、共同研究、受託研究、研究試料の提供等の様々な制度をご用意しています。皆さまのご利用をお待ちしています。



1. 共同研究
2. 受託研究
3. 有償技術相談
4. 依頼分析・鑑定
5. 研究試料の提供
6. 育成系統種苗の提供
7. 遺伝資源の配布
8. 特許等の実施許諾
9. 登録品種の利用許諾
10. 人材育成支援制度
11. ご相談先等
12. 連携対応窓口



企業等の新たな商品やサービスの開発に向けてお互いの技術シーズを活用して共同で研究開発を行います。

- 農研機構には製品化・実用化を目指す数多くの技術シーズがあります。
- 単独での製品開発にお悩みでしたら、農研機構の技術シーズを活用してイノベーションを目指しませんか。
- 企業側から資金の提供を受けて、共同研究を実施する制度もあります。
- 農研機構は、共同研究により企業側が税制上の優遇措置を受けられる国立研究開発法人です。※適用には要件を満たす必要があります。



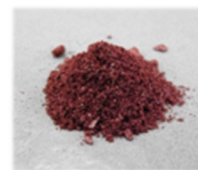
### 茶品種「べにふうき」とそれを利用した様々な商品の開発

メチル化カテキンの多い「べにふうき」緑茶のもつ抗アレルギー作用（ヒトでの効果）、作用機序を明らかにし、企業等との共同研究で様々な飲食品等が製品化されました。



### うんしゅうみかんの搾汁等の加工技術と飲料製品の開発

かんきつに含まれるβ-クリプトキサンチンの生活習慣病リスク低減効果を明らかにしました。また企業との連携で、高純度なβ-クリプトキサンチンの大量製造方法やβ-クリプトキサンチン高含有素材を開発し、機能性表示食品としてのミカン果汁飲料が製品化されました。



研究試薬用高純度  
β-クリプトキサンチン

企業等からの依頼を受けて、農研機構が持つ技術シーズを活用した研究開発を行います。

- 単独での製品開発にお悩みでしたら、農研機構の技術シーズを活用しませんか。
- 農研機構は、委託研究により企業側が税制上の優遇措置を受けられる国立研究開発法人です。※適用には要件を満たす必要があります。



企業等からの技術課題の相談に対し、専門的立場から企業等が求める解決策についてアドバイス・サポートを行います。

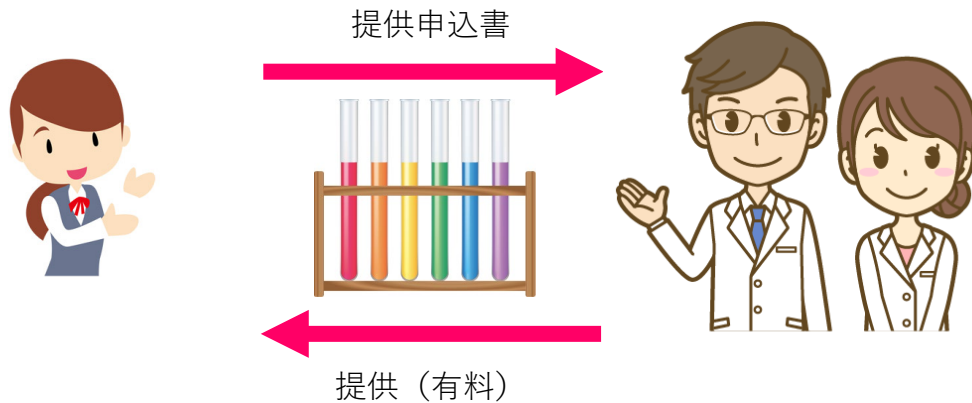
- 課題等の解決に農研機構のノウハウ、技術が活用できます。
- 相談だけでなく、簡易な試験・調査を併せて行うこともできます。
- 共同研究契約の締結前にフィジビリティ調査や研究の準備に活用することができます。

企業等からの依頼を受けて、高度な専門知識を必要とする分析や鑑定を行うことができます。

※他で実施していない分析や鑑定であって、農研機構の業務に関連する場合に受託可能です。

- 分析等の技術を学びたい方には、農研機構内での講習や専門講師の派遣を行う技術講習等の制度も用意しています。（費用は依頼者の負担）

研究用等として試薬、実験動物、試作品、菌株等の研究試料を提供できます。



【過去の提供例】

- ・化粧品原料化を検討するための試料として微生物由来オイルを提供
- ・オリゴ糖の酵素合成検討のための試料として酵素液を提供
- ・ナスの病害抵抗性を検討するための試料として病原菌を提供

研究用の種苗を提供できます。

- 品種登録前の育成系統種苗の提供には、共同研究により共同育種を目指す等の条件があります。

(育成系統：登録前の有用な品種候補)

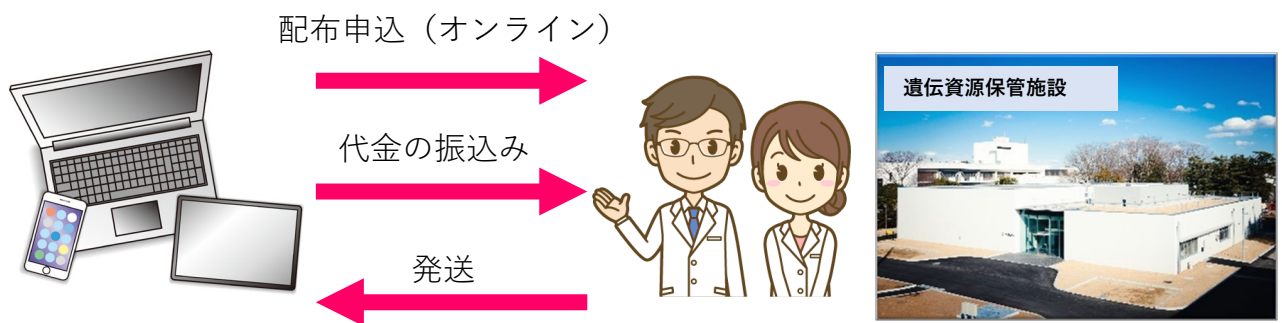


農研機構の遺伝資源研究センターでは、国内外の植物約23万点、微生物約3万7000点、動物約2000点の遺伝資源を保存しています。これらを研究・教育目的で利用したい方に配布しています。

[https://www.gene.affrc.go.jp/index\\_j.php](https://www.gene.affrc.go.jp/index_j.php)

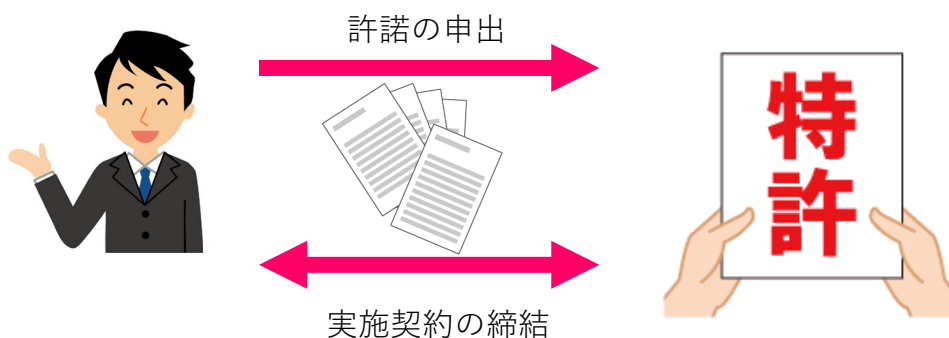
※お申込みの前に在庫の有無をご確認下さい。

- 独自に開発した遺伝資源検索システムでは品種名や原産地といった来歴データを用いた検索のほか、草丈・耐病性などの特性データでも検索できます。
- 遺伝資源の画像や塩基配列データ、収集地点の情報などもダウンロードできます。



技術的課題の解決のために農研機構の特許等を活用いただけます。

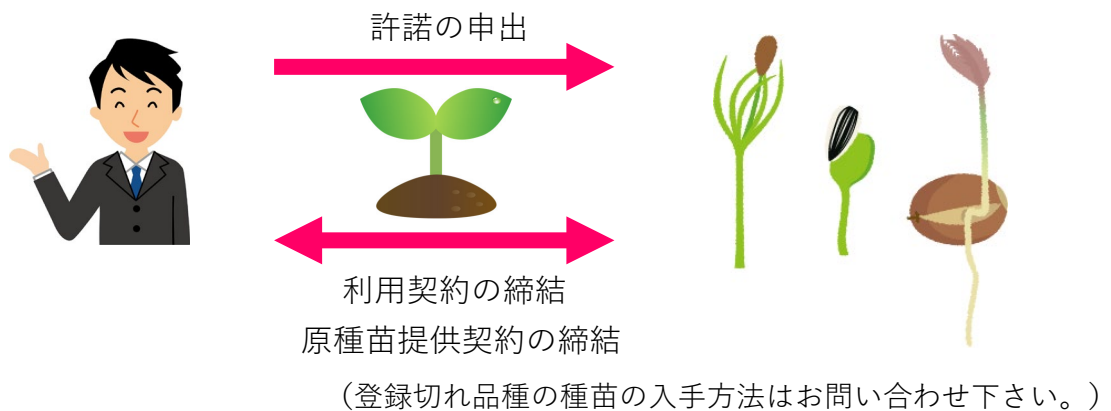
- 原則として、独占実施はできません。ただし、一定期間実施されていない特許等は、活用促進のために独占的な通常実施権の許諾も可能です。
- 特許等の実施料は、実績（出来高）に応じて支払うランニングロイヤルティや実施期間中の定額実施料、契約時一時金との併用など、実施の規模や内容に応じてご提案させていただきます。



農研機構は、農業・食品分野において約2,300件の特許を保有しています。

**農研機構が開発・育成した品種を活用いただけます。**

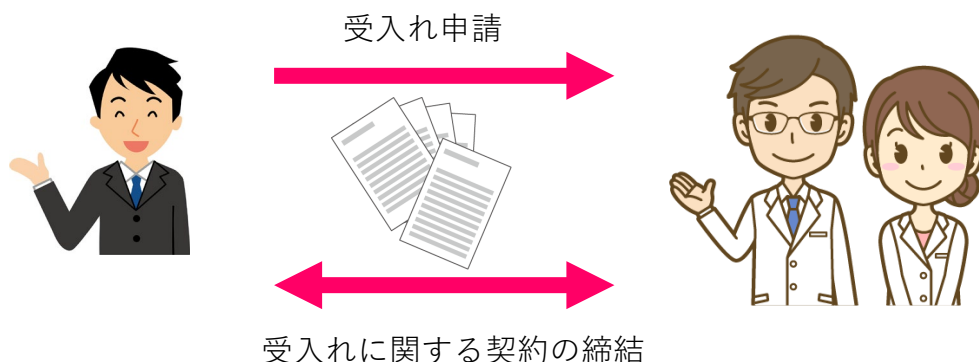
- 原則として、独占利用はできません。
- 許諾は種苗の増産・販売を行う法人（種苗会社等）が対象です。収穫物の販売を目的として種苗を入手したい場合は、許諾を受けた種苗会社等から購入して下さい。
- 利用料は、実績（出来高）に応じて支払うランニングロイヤルティを基本とし、生産・販売した許諾種苗の金額に利用料率を乗じて算出します。



農研機構は、稲、麦、果樹、野菜等約850件の出願・登録品種を保有しています。

**農研機構では、農業・食品産業分野における研究人材の育成のため、各種受入れ制度を設けています。**

- 目的に応じて、外部研究員受入れ制度、依頼研究員受入れ制度、技術講習制度等がありますので、農研機構で技術の習得を希望する場合は、お問い合わせ下さい。



## 民間との共同研究・受託研究・有償技術相談

- 本部 事業開発部 企業連携課  
TEL : 029-838-6960
- 各研究センター・研究部門  
<https://www.naro.go.jp/introduction/laboratory/>

## 遺伝資源の配布

- 遺伝資源研究センター  
TEL : 029-838-7467
- 遺伝資源データベース  
<https://www.gene.affrc.go.jp/databases.php>

## 特許等の実施許諾

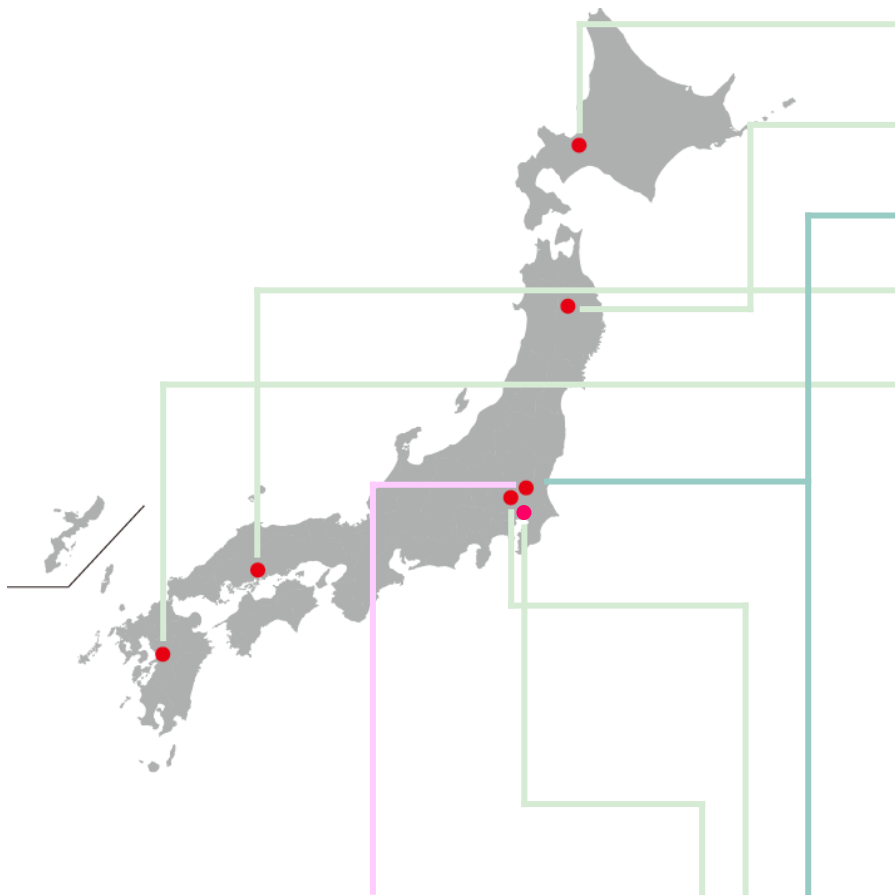
- 本部 知的財産部 知的財産課 特許ライセンスチーム  
TEL : 029-838-6465 FAX : 029-838-8905
- 許諾可能な特許はこちらで検索できます。  
<https://www.naro.go.jp/collab/patent/>

## 登録品種の利用許諾

- 本部 知的財産部 育成者権管理課 品種登録チーム  
TEL : 029-838-8233 FAX : 029-838-6868
- 農研機構が育成した品種はこちらで検索できます。  
<http://www.naro.go.jp/collab/breed/>  
種子・種苗の入手先はこちらをご覧ください。  
[http://www.naro.go.jp/collab/breed/seeds\\_list/](http://www.naro.go.jp/collab/breed/seeds_list/)

## 研究成果

- 農研機構の研究成果はこちらでご覧いただけます。  
<http://www.naro.go.jp/project/results/>



## 総合対応窓口

本部 事業開発部 事業開発総括課  
〒305-8517  
茨城県つくば市観音台3-1-1  
TEL 029-838-6952



「農研機構」(のうけんきこう)は、「国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構」の登録商標(登録番号 第5718217号)であり、コミュニケーションネーム(通称)です。

## 本部 事業開発部 事業開発総括課

〒305-8517 茨城県つくば市観音台3-1-1  
TEL 029-838-6952  
2021年6月改訂。

## 地域対応窓口

北海道 札幌市	北海道農業研究センター 011-851-9141
岩手県 盛岡市	東北農業研究センター 019-643-3433
茨城県 つくば市	中日本農業研究センター 029-838-8510
広島県 福山市	西日本農業研究センター 084-923-4100
熊本県 合志市	九州沖縄農業研究センター 096-242-1150

## 専門研究・重点化研究対応窓口

茨城県 つくば市	<b>基盤技術研究本部</b> ・農業情報研究センター 03-3503-6660 (東京窓口) ・農業ロボティクス研究センター 03-3503-6660 (東京窓口) ・遺伝資源研究センター 029-838-7467 ・高度分析研究センター 029-838-7096
	食品研究部門 029-838-7971
	畜産研究部門 029-838-8600
	動物衛生研究部門 029-838-7713
	作物研究部門 029-838-7404
	果樹茶業研究部門 029-838-6416
	野菜花き研究部門 029-838-6669
	生物機能利用研究部門 029-838-7419
	農業環境研究部門 029-838-8148
	農村工学研究部門 029-838-7513
	植物防疫研究部門 029-838-8998
	種苗管理センター 029-838-6581
埼玉県 さいたま市	農業機械研究部門 048-654-7000
神奈川県 川崎市	生物系特定産業技術研究支援センター 044-276-8400